



高齢化する知的・発達障害者への支援を考える

— 認知症・神経発達症・意思決定支援の実践から —

行動の変化、物忘れ、こだわり…高齢化と障害特性が重なったとき、どう支えるか。高齢の知的・発達障害者では認知症との見極めや対応の難しさ、これまでの支援が通用しにくくなるといった課題が生じています。本研修では、全国調査・医療現場・意思決定支援の実践から、現場の“困りごと”に役立つ視点を提供します。

●こんな方におすすめ

- ・ 高齢の知的・発達障害者の支援に関わる施設職員・医療職
- ・ ASD/ADHD など神経発達症と高齢化の支援課題に関心のある方
- ・ 認知症と障害特性の見極めや対応に悩んでいる支援者
- ・ 意思決定支援を現場で実践したい相談支援専門員・行政職員 など

●開催概要

オンデマンド配信 2026年2月3日(火)～3月16日(月)まで

●プログラム 各講座 約30分

第1講座 竹之下 慎太郎 先生（岡山大学 学術研究員・医師）

高齢知的障害者の全国調査から見えてきた課題／全国調査から見た高齢知的障害者の生活実態と支援ニーズ・地域・施設に求められる支援体制

第2講座 繁信 和恵 先生（公益財団法人浅香山病院 精神科・認知症疾患医療センター・医師）

認知症初期集中支援チームが係わる高齢神経発達症の課題と支援／高齢の神経発達症者にみられる特徴と認知症との関連・初期集中支援チームの実践から見える支援の工夫

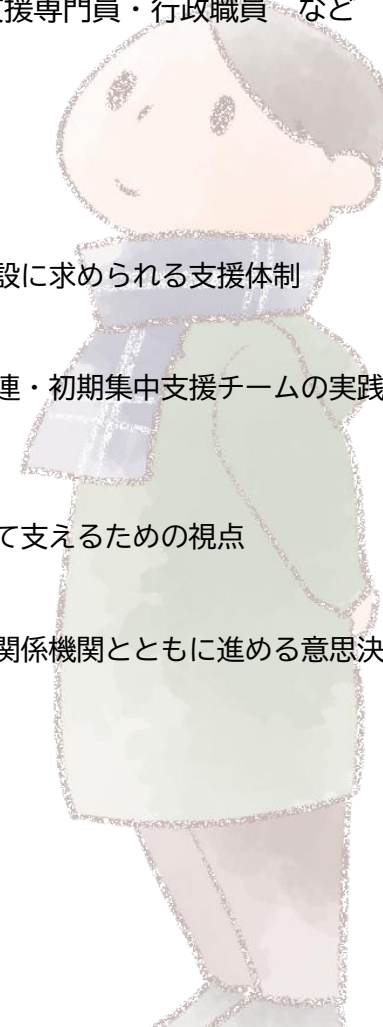
第3講座 三好 紀子 先生（ためなが温泉病院 精神科・医師）

高齢の ASD/ADHD 者の特徴と支援の課題／高齢期における ASD/ADHD の特徴と困りごとの現れ方・医療と福祉が連携して支えるための視点

第4講座 村岡 美幸（国立のぞみの園 研究課）

高齢知的・発達障害者の意思決定支援／高齢の知的・発達障害のある人の「意思」をどう汲み取るか・家族・支援者・関係機関とともに進める意思決定支援の実践例

[お申込み方法等は裏面へ](#)



お申込み方法等

●**お申込** 申込期間：2026年 1月 28 日(水)～2月27日(金)まで 参加費：1,000 円

国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

→「養成・研修」→「研修のご案内」→「国立のぞみ園セミナー2025 高齢化する知的・発達障害者への支援を考える」→「**お申し込みはこちら**」

上記よりお申込みください ※ 自動返信はございません

●参加費の払込について

- ・申し込みフォームの受付最終画面にて、受付番号と払込口座のご案内をいたします。スクリーンショットなどで画面を保存することをお勧めします
- ・ゆうちょ銀行に備え付けてある払込取扱票の通信欄に（①受付番号、②受講者名、③住所、④振込者名）を必ずご記入ください。なお、払込手数料は受講者様の負担でお願いいたします
- ・請求書、領収書の発行は行っておりませんので、払込時の受領証を大切に保管ください

●キャンセルについて

- ・URL 送付前のキャンセルにつきましては、手数料を差し引いた金額をご返金いたします
- ・URL 送付後のキャンセルはできませんのであらかじめご了承ください

●視聴方法

お振込み確認後、お申し込みのメールアドレスに配信ページの URL とパスワードをご案内します。配信期間中は、好きな時間に何度でも視聴できます。※お振込み確認まで入金後10日前後の時間を頂いております。

●お問い合わせ

国立のぞみの園 研究・人材養成部 槻岡・長井 メール：【nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp】

電話：027-381-5582 （受付時間 9：00～17：00 土日祝日除く）

